

第99期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



特集

強みのブランド商品開発、 ギフト事業をさらに強化

トップインタビュー

「おいしいを届ける」「おいしいを伝える」
知的な機能の構築に向けてチャレンジ&イノベーション

伊藤忠食品株式会社

証券コード: 2692



「おいしいを届ける」 「おいしいを伝える」 知的な機能の構築に向けて チャレンジ&イノベーション

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成29年3月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業概況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきます。

平成28年12月

代表取締役 社長執行役員

瀧口 泰三

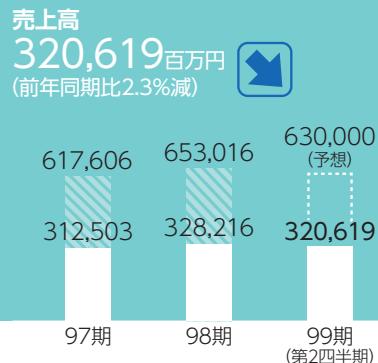
● 企業理念

常に時代の変化と要請を先取り、
健康で豊かな食生活創りを通じて
消費者と社会に貢献します

当第2四半期の取り組みと経営成績について

食品流通業界では、少子高齢化による、恒常的な人手不足とこれに伴う労働コストの上昇、加えて業種・業態の垣根を越えた競争の激化から引き続き厳しい事業環境となりました。また、英国のEU離脱など海外経済の不確実性の高まりや、円高・株安などのマクロ経済の動きが消費者心理に影響をおよぼし、買い物時の生活防衛姿勢を強

連結決算ハイライト (単位:百万円)



めているようです。この傾向は、所得が上昇しない限り続くと考えています。

当社グループは、このような状況の中、当社130年におよぶ歴史をさらに積み上げていけるように、当期より5ヵ年中期経営計画を始動しました。本計画では、最終年度（平成33年3月期）の連結業績において「売上高1兆円」「経常利益率1%」を目標に掲げております。

当期は、お取引先様との取引深耕と拡大に向けて、当社グループにしかできない価値ある機能（商品・サービス）の提供を目指し、WEB関連・ブランド事業およびギフト・酒類分野の強化に取り組んでいます。

第2四半期までの営業状況は、酒類分野の積極提案が新規取引の拡大につながり、「ビール」「和洋酒」の売上が増加しました。一方で、主要取引先における一部メーカーの帳合変更を受けた「嗜好・飲料」「麺・乾物」の減少による

影響もあり、売上高は3,206億19百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面は、減収の影響と物流経費の増加により、営業利益が14億16百万円（同9.1%減）、経常利益が18億7百万円（同6.7%減）と減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の計上などにより14億7百万円（同18.3%増）となりました。

期初の計画値に対しては、売上高が概ね想定通りとなり、利益面ではコスト圧縮に努めたことに加え、一部費用の発生が第3四半期以降にずれ込んだことなどから経費が減少し、計画を上回りました。

「おいしいを届ける」「おいしいを伝える」機能の強化

組織体制面では、本年4月に「事業開発本部」を設置し、

■第2四半期 ■通期

詳細はP7-8をご覧ください。

営業利益

1,416百万円
(前年同期比9.1%減)



経常利益

1,807百万円
(前年同期比6.7%減)



親会社株主に帰属する四半期純利益

1,407百万円
(前年同期比18.3%増)



EC事業およびブランド事業の強化に向けた体制を整備しました。9月には「Eマーケティング事業部」を新設し、新しいテクノロジーを取り入れながら、「商品」「情報」をキュレーション・編集する新たな事業領域の創造に向けた取り組みをスタートしています。



©亜樹直、オキモト・シユウ/講談社



EC事業の新たな取り組みでは、人気漫画「神の雫」の原作者・亜樹直氏監修によるキュレーションコマースサイト「神の雫ワインサロン」(<https://kaminoshizuku.jp>)を11月に開設し、作品読者およびワインファンに向けたBtoCサイトとして、亜樹直氏お奨めのワインや「ワインと食のマリアージュセット」などの販売を開始しました。

商品開発事業では、フランスの巨匠ジョエル・ロブション氏と開発したプレミアムアイスバーを9月に都内で先行発売し、予定数量が数日で完売する程の反響がありました。現在、販売エリアの拡大に向けて準備を進めています。この他にも、ヘルス&ビューティのニーズに対応した甘味料「ネイチャースイートソース」の提案や、地方創生の取り組みとして「地域産品プロジェクト」によるセレクト企画の拡充を進めています。

ギフト分野では、4月に業務提携契約を締結したカタログギフト大手のリンベル株式会社との協業を推進し、商品の相互販売や、共同カタログの作成に取り組んでいます。当期の歳暮ギフトから、当社オリジナルカタログにおいてリンベルの「コトギフト」や「高付加価値商品」の取り扱いをスタートします。

酒類分野では、ワインの販売拡大に注力し、米国No.1プロセッコ「ミオネット」の国内総販売代理店として、上期中に外食100店舗以上で採用いただきました。下期から



はECおよびギフトでの取り扱いも開始し、伸長するスパークリングワインの市場において、さらなる販売拡大を目指します。またこの12月には、酒類・食品輸入専門商社のリードオフジャパン株式会社との資本業務提携を予定しています。同社との提携を通じて、互いの強みを活かし、新規輸入ブランドの導入や国内販売に関する協業体制を構築していきます。

通期業績の見通しと配当について

前述の通り第2四半期までの業績は、売上高・利益とも期初の計画を上回り増収増益となりました。下期は、上期に計画していた一部経費の計上や、物流収入の回復が当初想定通りに進まない見通しであることなどから、通期業績については期初の予想数値を変更せず、売上高6,300億円(前期比3.5%減)、営業利益32億円(同19.7%減)、経常利益40億円(同14.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益31億円(同3.2%増)を見込んでいます。

なお当第2四半期末の配当は、予定通り1株当たり35円(前期同額)とさせていただきます。期末配当についても同35円(前期は記念配当5円を含む40円)とし、年間配当額70円を計画しています。

これからの当社グループは、新たな歴史に向けたチャレンジ&イノベーションにより、「おいしいを届ける」「おいしいを伝える」知的な機能の構築を進めていきます。そして、その取り組みを通じて中期経営計画の目標を達成し、全てのステークホルダーに信頼される持続性の高いグッドカンパニーを目指してまいります。



株主の皆様におかれましては、当社グループのさらなるチャレンジ&イノベーションにご期待いただき、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

99期連結業績予想

売上高	6,300億円
営業利益	32億円
経常利益	40億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	31億円

特集

強みのブランド商品開発、

『「価値」を追求し、『信頼』されるグッド・カンパニーへ』を掲げた5か年中期経営計画が始動しました。ここでは、商品開発と機能強化による『価値追求』の具体的取組みについてお伝えします。

フレンチの巨匠 「ジョエル・ロブション」の世界観を 表現したプレミアムアイスバー

ブランド商品開発の新たな展開

当社は、世界最高峰の料理人と呼ばれるジョエル・ロブション氏とのコラボレーションによるプレミアムアイスバー2商品を開発し、平成28年9月よりセブン-イレブン東京都内店舗（一部店舗を除く）で先行発売しました。先行発売は好調で、セブン-イレブンでの販売エリア拡大に向けて準備を進めています。

「ジョエル・ロブション
ショコラ
～オレンジと練乳の
ソースで～」



「ジョエル・ロブション
ストロベリー
～タヒチ産バニラと
ホワイト
チョコで～」



コンセプトは 「新しさや斬新さで驚かせるアイスバー」

ロブション氏による商品化のコンセプトは「新しさや斬新さでお客様を驚かせるアイスバー」。味、食感、構成の全てにおいて、今までにない高いクオリティに挑戦し、斬新さを妥協なく追求することが求められました。

2年におよぶ 打合せと商品改良を経て完成!

甘さを抑え、多彩な味や食感が押し寄せるイメージを求めたロブション氏。約2年を経て完成した商品は、世界最高峰の料理人から「ブラボー」と拍手を受けました。

ジョエル・ロブション プロフィール

世界を代表するフレンチシェフ。1945年フランス・ポワティエ生まれ。フランス国家最優秀職人賞MOF受賞。1981年に「ジャマン」を開店し、その後三ツ星シェフとなる。



ギフト事業をさらに強化



株主優待商品も
大阪ギフトセンターから
発送しています!

ギフトNo.1実現のための新物流戦略

ギフト事業部は営業本部と連携し、商品提案を含めた一括受託によるギフト取引の拡大を推進中です。当センターは、3温度帯に対応するセットアップ機能で高度な物流提案を実現します。

受注から発送まで全プロセスを上質化

お客様が求めるギフト物流機能を提供するために、当センターは受注から発送までの一貫体制において、全ての作業工程の上質化を追求。ギフト専用システムの開発による受発注の効率化も進めています。

オリジナルギフトのセットアップ・プロセス

作業準備



包装・梱包資材を大量ストック。スケジュールに合わせた準備が作業効率を高めます。

製函



製函器の新規導入により、1日約1万セットのオリジナルギフトの生産能力を確保。

セットアップ



細かな手作業で、のし・名入れや包装の種別対応も可能。要冷品の作業設備も完備。

ギフト事業の新たな戦略拠点 大阪ギフトセンターを新設

5年後の取扱い倍増に向けた機能強化

平成28年4月に稼働した大阪ギフトセンターは、ギフト分野の拡大戦略を支える重要拠点です。従来型の営業倉庫をプロフィットセンターに転換すべく、従来からの機能移転に合わせて、外部委託していた機能を集約。ギフト機能を強化し、5年後にオリジナルアソートギフト・宅配包装出荷個数の取扱い倍増を目指します。

連結決算の概要

▶ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

売上高

320,619 百万円

(前年同期比2.3%減)

組織小売業との取引拡大や販路拡大などの増加要因はあったものの、主要取引先における一部メーカーの帳合変更により、前年同期比で75億97百万円の減少となりました。

営業利益

1,416 百万円

(前年同期比9.1%減)

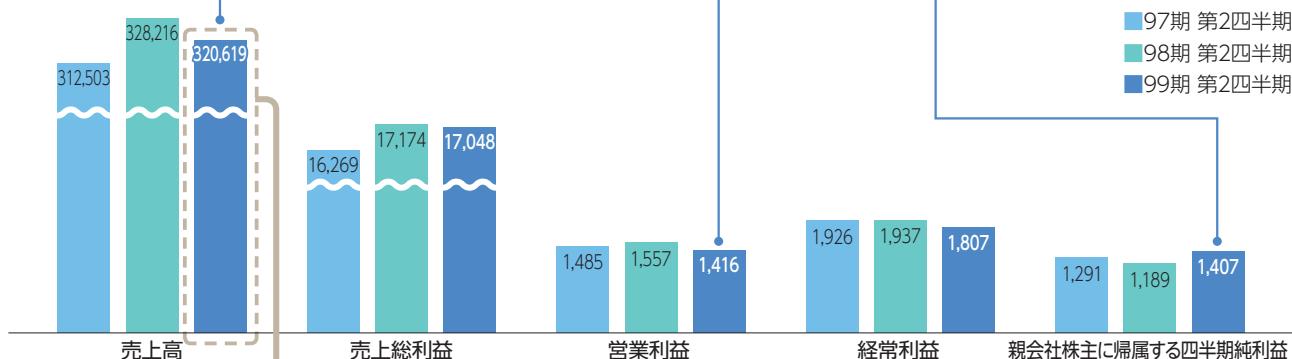
減収の影響と物流経費の増加により、前年同期比で1億41百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

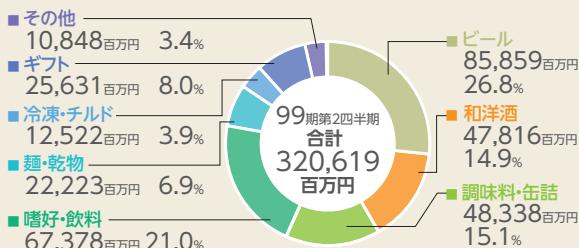
1,407 百万円

(前年同期比18.3%増)

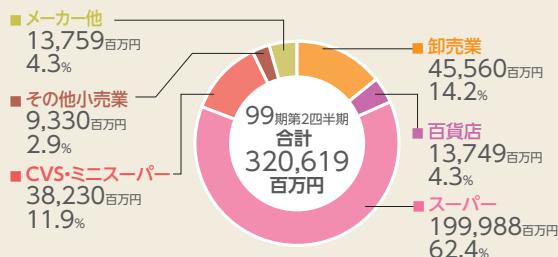
固定資産売却益を特別利益に計上したことなどにより、前年同期比で2億18百万円の増加となりました。



商品分類別売上高構成比



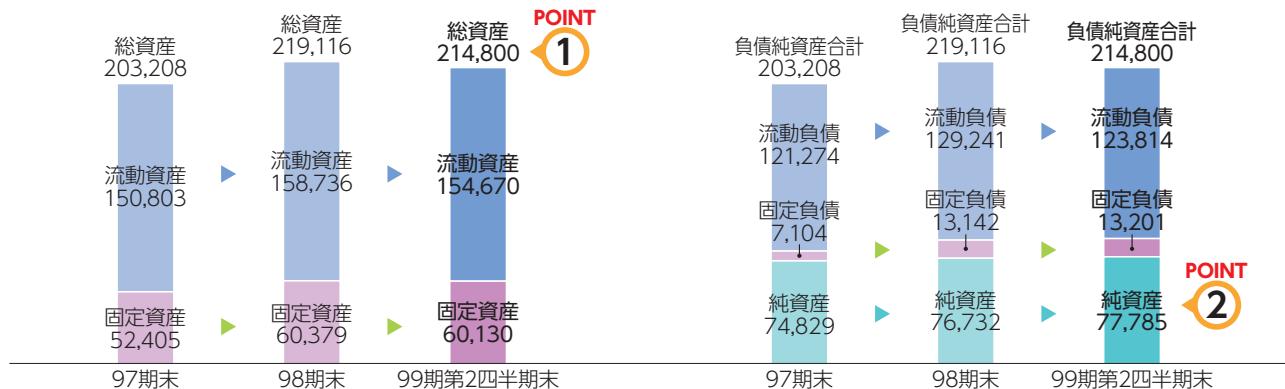
業態別売上高構成比



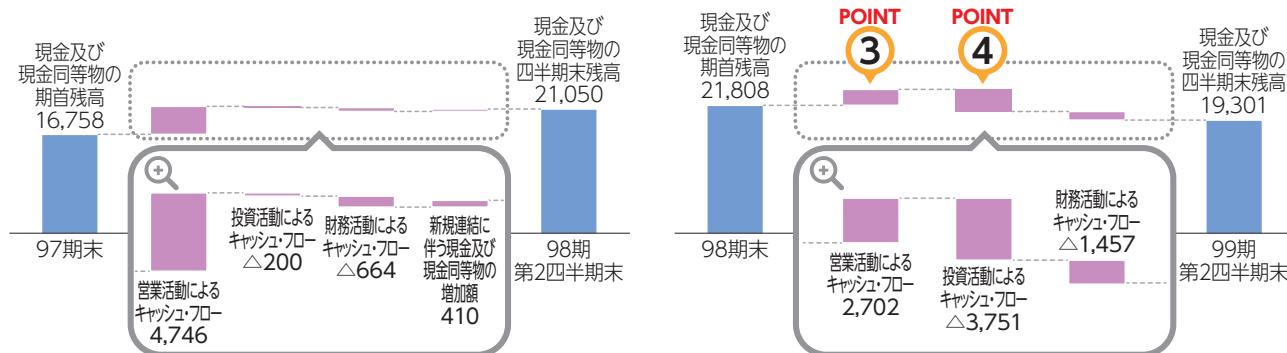
(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

Consolidated Financial Statements

▶ 資産、負債及び純資産の状況 (単位: 百万円)



▶ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



POINT 1 総資産は2,148億円となり、前期末に比べ43億15百万円の減少となりました。これは、主要取引先における一部メーカーの帳合変更などもあり売上債権、未入金がそれぞれ減少したことなどによるものであります。

POINT 2 純資産は、777億85百万円となり、前期末に比べ10億52百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

POINT 3 営業活動によるキャッシュ・フローは、27億2百万円の収入(前年同期は47億46百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フローは、37億51百万円の支出(前年同期は2億円の支出)となりました。これは主に、関係会社への資金の預入によるものであります。

より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。▶▶▶

伊藤忠食品 IR

検索

商号 伊藤忠食品株式会社
 創業年月日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
 設立年月日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
 資本金 4,923,464,500円
 従業員数 連結1,093名 個別778名
 事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、
 運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する
 マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
 本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22
 大阪本社
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
 電話(06)6947-9811
 東京本社
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
 電話(03)5411-8511

役 員			
代表取締役・社長執行役員	濱口 泰三	常務執行役員	久野 耕佐
取締役・専務執行役員	松本 耕一	常務執行役員	酒井 健雄
取締役・専務執行役員	大釜 賢一	執行役員	鈴木 昌
取締役・専務執行役員	三浦 浩一	執行役員	角田 憲治
取締役・執行役員	大崎 剛	執行役員	松本 正幹
取締役・相談役(非常勤)	星 秀一	執行役員	河原 光男
取締役(非常勤)	川村 博	執行役員	讃岐 博行
取締役(非常勤)	橋本 健	執行役員	魚住 直之
取締役(非常勤)	高垣 晴雄		
常勤監査役	姫野 彰		
監査役(非常勤)	増岡 研介		
監査役(非常勤)	神野 純弘		
監査役(非常勤)	桜木 正人		

子会社・関連会社 ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業／■(株)中部メイカン ■(株)スハラ食品
 小売業／■(株)宝来商店

物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)
 サービス業／■ISC ビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー
 食品マーケティング業／■(株)UpTable

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の
 口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

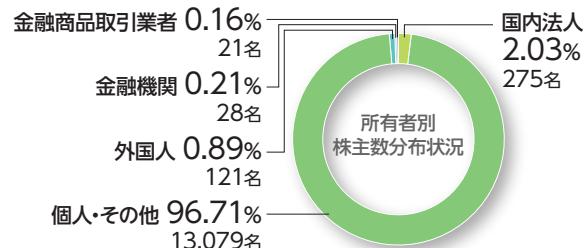
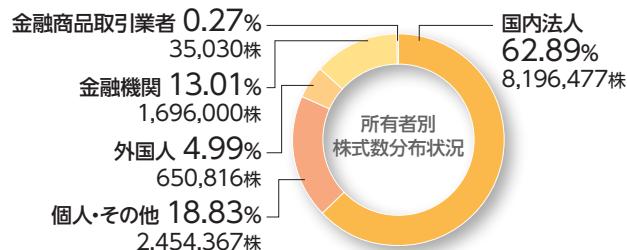
* 公告掲載の当社ホームページアドレス

<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,032,690株
 株主数 13,524名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品従業員持株会	158,100	1.21
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	124,800	0.95
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	83,100	0.63
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	69,500	0.53

(注) 1 上記のほか、自己株式が345,183株あります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

住所変更、
単元未満株式の
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式
会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」
について

配当金領収証にてお受取りの
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたして
おります。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支
払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」
を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待のご案内

Choice de Choice

[ちいすでちまいす]

厳選された約50種類の商品から
お好きな商品をお選びいただけるギフトです。

3,000円
相当

お福正宗
純米生貯蔵・
吟醸生貯蔵
蔵直セット



雪蔵仕込み魚沼産
こしひかり



食べるコスメオイル



損保乃糸特級品



紀州産南高梅
くずれ梅
(はちみつ味)



伊賀上野の里
ローズハム&
つるし焼豚



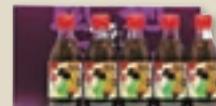
十勝白い牧場
アイスクリーム



五福軒 デミグラス
ハンバーグセット

「商業高校フードグランプリ」
出場商品も優待に!!

長野県須坂創成高校
村山さん家の
ごぼうスープ



広島市立広島商業高校
とろーり梅
しょうゆセット

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。

優待のカタログの発送は6月を予定しております。

※カタログ掲載商品は変更となる場合があります。

Choice de Choice が届くまで

1 12月

中間報告書(本紙)ご送付
※中間期は、株主優待を実施
していません。

2 3月末

株主優待権利確定

3 6月下旬頃

株主総会后、決議通知に優待のカタログとハガキを同封して郵送いたします。

4 9月30日までに
ご投函ください。

カタログより優待商品をお選びいただき、ハガキを返信していただきます。

5 お届け

お選びいただいた優待商品がお手元に届きます。

ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

UD
FONT



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。